

シート番号	9501-03	名 称	伏鉦
分 類	金造物	場 所	人見 慈安堂共同墓地
小 分 類	社寺奉賽物	メッシュ番号	1414
年 号	年紀不明		
形 状	鉦鼓		
サ イ ズ	不明		
画像番号	9501-03-01 (底)	画像番号	9501-03-02 (右)
			
		西上総周集郡神門村願主安心	
画像番号	9501-03-03 (左)		
		西村和泉守作	
<p>コメント；「鉦」とは、下に伏せて置き、撞木(しゅもく)で打ち鳴らす金属性の仏具のことで「たたきがね」、「ふせがね」をいう。</p> <p>西村和泉守は、延宝年間(1673～1681)頃から大正時代に至るまで11代にわたり鋳物師をつとめた家で、代々神田に住み、和泉守政時を名乗った。</p> <p>制作年は、「周集郡」の表記が江戸初期に多いことから、江戸時代初期(1603-1691)頃。また、初代の没年が元禄8年(1695)12月13日であることから、初代西村和泉守藤原政時作と推定される。</p>			